

# C.COM

## CONTENTS

- 特集企画 ..... 1  
時代を先駆けて3つのEを実現! ..... 5  
Topix ..... 7  
事務局だより ..... 10

11.2019/vol.74



写真提供：広島県

平和とより良き生活のために

広島県生活協同組合連合会

# これからも暮らしに寄り添う

## 広島県生活協同組合連合会として

2020年を目指す方向性として  
SDGs（持続可能な開発目標）を基軸に、  
暮らしに関わるテーマに対して  
具体的な取り組みを進めています。

広島県生活協同組合連合会は、

社会、人と人の結びつきにより、より良いくらしを実現することを目指していきます。しかしながら、現代の社会では、食の安全・安心、貧困、環境破壊、平和・核兵器の問題、社会保障、教育の不平等など、様々な問題によって、暮らししが脅かされています。

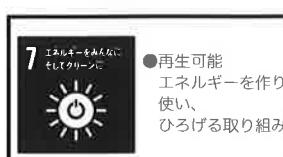
広島県生協連は「誰もが安心して暮らせる持続可能な地域」「ミニユーティの再生」を目指し、人間尊重の暮らしづくり、「自立」「連帯」の力による、地域循環型社会経済システムの形成に取り組んでいます。

広島県生協連及び、会員生協が取り組む「care」「education」「food」「peace」「環境・エネルギー」「職場」



今後、「誰一人取り残さない社会」の実現に向けて、一層生協の活動を広げ、推進していきます。

生協は、誰もが安心して暮らせる社会、人と人の結びつきにより、より良いくらしを実現することを目指していきます。しかしながら、現代の社会では、食の安全・安心、貧困、環境破壊、平和・核兵器の問題、社会保障、教育の不平等など、様々な問題によって、暮らししが脅かされています。



# co·op

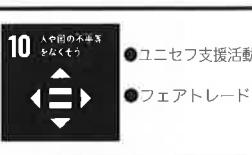
■生協は人々の共通の願いを実現する自治組織。

■SDGs の指し示す持続可能な発展は 現代の人々の共通のねがい。

■実際、生協は SDGs17 目標の多くに関わりを持って活動。  
(代表的な例を記載)

**協同組合とは（定義）**  
(ICA=International Co-operatives Alliance  
=国際協同組合同盟による定義)

協同組合は、共同で所有し民主的に管理する事業体を通じ、共通の経済的・社会的・文化的ニーズと願いを満たすために自発的に手を結んだ人々の自治的な組織である。



# 広島県生協連及び会員生協におけるSDGsの取り組み



## Care（健康づくりや医療・福祉の取り組み）

本格的な少子高齢社会をむかえ、地域社会で誰もが健やかに心身ともに健康な生活が営めるように、地域の諸団体や会員相互により連携した地域包括支援システムの確立を目指しています。

- \*けんこうチャレンジに広島県全域で取り組む（**広島県生協連**）
- \*ひろしま GENKI 体操の普及（**生協ひろしま**）
- \*日本乳がんピンクリボン運動※1（**生協ひろしま**）（**コープCSネット**）
- \*シーサイドウォーキング、脳いきいき交流会、けんこうチャレンジ親子企画、体力測定＆セラバンド体験会等の開催（**広島中央保健生協**）
- \*JAと協力した介護予防や青空健康チェックなどの取り組み＊行政との懇談
- \*「フレイル※2予防」「医療福祉生協の健康習慣」「すこしお生活※3」の普及＊5.31世界禁煙デー、10.1世界健康ウォークへの取り組み（**広島中央保健生協**）（**広島医療生協**）
- \*救急医療、リハビリテーション、緩和ケア、ヘルスプロモーションを重点活動として実践（**広島医療生協**）
- \*フレイル予防講座、いきいき百歳体操を開催。一般介護予防事業の開催（**福山医療生協**）
- \*「7歳の交通安全プロジェクト」の展開 交通安全をテーマとしたイベント（**広島県労済生協**）



けんこうチャレンジ 2019



シーサイドウォーキング



健康チェックの様子



## Education（学び、教育、研修）

消費者の自立とは、「生き抜く力」であり、生協は組合員の自助、共助など相互扶助の精神を大切にし、協同組合の原則にある教育機会を会員生協で共有化して諸活動に取り組みます。

- \*介護人材キャリアアップ研修の開催＊トップセミナー、県連生協ゼミナール、初級職員研修、分野別研修の開催（**広島県生協連**）
- \*MANABI カレッジを開催し生涯教育に取り組む（**生協ひろしま**）
- \*教科書代としての修大マネーの事前振込＊学生のキャリアアップサポート①公務員試験対策講座。担当職員によるきめ細かなサポート、学習環境の充実や環境づくり、大学のバックアップ体制の充実②教員志望者へのサポート「修道大学オリジナル直前対策講座」などの開講（**修道大学生協**）
- \*学内公務員試験対策講座と教員採用試験対策講座、パソコン総合セミナー、TOEIC学内英語講座の取り組み強化（**広島大学生協**）



学習会・ゼミナール



MANABI カレッジの様子

※1日本乳がんピンクリボン運動／対象商品1点利用につき1円が認定NPO法人J.POSH（日本乳がんピンクリボン運動）に寄付されます。認定NPO法人J.POSH（日本乳がんピンクリボン運動）は、『受けよう乳がん検査。早期発見で笑顔の暮らし』を合言葉に全ての人に乳がん検査の必要性を啓発する団体。全ての助成に乳がんの正しい知識を持っていただくとともに患者さんとその家族へのサポートを通して、明日の健康な社会を残すことを目指して活動しています。

※2フレイル／フレイルとは、「虚弱」「老衰」「脆弱」。「加齢とともに心身の活力（運動機能や認知機能）が低下し、複数の慢性疾患の併存などの影響もあり、生活機能が障害され、心身の脆弱性が出現した状態」

※3「すこしお生活」／「少しの塩分」で「すこやかな生活」を目指す取り組みの総称。



## Food (食の安心安全)

「未来ある子供たちに安心・安全な食生活」を。

生協は、地産地消やエシカル消費などの推進と共に、食に関わる安心・安全と信頼ある提供を目指します。

\*行政や JA と連携した「地産地消」の取り組み推進 (広島県生協連)

\*「ユニセフ活動」「フードバンク活動」、行政と連携した「子どもの貧困に対する取組みと学習

\*「産直活動」や「メーカー・生産者との交流」(生協ひろしま)

\*CO・OP × レッドカープキャンペーン※3 \*洗剤環境寄付キャンペーンの実施 (生協ひろしま) (コープCSネット)

\*品質保証

①会員生協と検査制度やリスク評価能力の維持を前提とした検査の受委託

②HACCP※4 制度化対応ツールとして生協版店舗の衛星ガイドラインを作成・提供

③会員生協消費のページやヘルシーコープのページを新設。

その他にも、災害復興支援、コアノンスマイルスクロールプロジェクトなど

\*海洋資源の保護・もしく基金、うなぎ資源対策協力金 (コープCSネット)

\*生命をはぐくむ食べ物運動・学習会や視察の様子を共有し、

利用普及への取り組み・「産直」の良さの普及活動 (グリーンコープ生協ひろしま)

\*親子お好み焼き教室の開催 (日立因島生協)

\*子ども食堂「わくわくパーティ」の月1回の開催 (広島中央保健生協)

\*ワーカーズコープ等と連携し、子ども食堂「ワイワイ広場」を開催。

災害支援の一環で診療所において子ども食堂を実施 (広島医療生協)

\*食の安全確保や食料自給率の向上と消費者問題解決のため、行政への働きかけ (広島県学校生協)

\*増加している留学生へ住と食への対応強化。ハラール等様々な食のニーズに対応 (広島大学生協)

\*商品やサービスの取り扱いを広げ、事業の深化、運営強化・インターネットショッピングの開設、教職員へのサービス拡大 (福山市立大学生協)



安心・安全の食の提供



移動店舗



お好み焼教室



## Peace (平和と安心安全の社会をつくる)

「平和とより良き生活のために」をスローガンに、戦争も核兵器もない平和な社会づくりのために、地域の諸団体と連携しながら市民が創る平和活動を推進しています。

\*核兵器廃絶に向けた取り組み (広島県生協連) (会員生協)

\*被爆地ヒロシマとして各種関連行事に参加 (広島県生協連) (会員生協)

\*ピースアクション in ヒロシマの開催、子ども平和会議の開催 \*国際平和デー記念行事への参加

\*平和のつどい、市民平和行進の開催、ピースアクション in ヒロシマ、

\*戦争も核兵器もない平和な世界を市民の集いの開催

\*ヒバクシャ国際署名広島県推進連絡会事務局として署名行動の取り組み (広島県生協連)

\*ピースナイター、平和基金、虹のコーラス、生協ひろしま碑めぐりガイドの会、

生協ひろしま子ども碑めぐりガイド (生協ひろしま)

\*平和の折り鶴昇華再生事業 (広島県生協連) (生協ひろしま) (コープCSネット)

\*ヒバクシャ国際署名の取り組み、改憲問題に対する取り組み (広島中央保健生協) (広島医療生協) (福山医療生協)

\*ピースプロジェクト (広島大学生協)



和平の折り鶴昇華再生事業



ヒバクシャ国際署名署名行動



市民平和行進

※3 CO・OP × レッドカープキャンペーン / 対象商品1点利用につき1円が国連WFP（国際連合世界食糧計画：飢餓のない世界をめざして活動する国連の食糧支援機構）に寄付され、カンボジア王国の子どもたちに学校給食を届けます。

※4 HACCP 制度 / 原材料の受け入れから最終製品までの各工程ごとに、微生物による汚染、金属の混入などの気概要員を分析 (HA) した上で、危害の防止につながる特に重要な工程 (CCP) を継続的に監視・記録する工程管理システムです。

※5 コアノンスマイルスクロールプロジェクト / CO・OP コアノンロールシリーズを1パック購入すると1円がユニセフを通じてアフリカのアンゴラ共和国に寄付され、教師の育成、安全な水の整備、トイレの設置など子どもたちが楽しく学べる環境づくりに使われています。



西日本豪雨災害支援活動



西日本豪雨災害被災地での交流



広島県との包括的連携協定

## 環境・エネルギー・災害支援

### (安心してすみ続けられるまちづくり、生協間、協同組合間、行政との連携)

地球規模の温暖化問題（大規模災害の発生）をはじめ、事業活動で排出されるCO<sub>2</sub>の削減など環境問題では、浪費型の社会・経済システムから持続可能なシステムへの転換が求められています。

生協では、再生可能エネルギーへの転換や家庭ができる省エネ・節電など地域循環型の環境システムに貢献できる取り組みを進めています。

\*ひろしまエコチャレンジへの協賛、推進（広島県生協連）

\*ひろしま地域環境フォーラムの会員として環境の取り組み推進（広島県生協連）

\*西日本豪雨災害支援では、物資協定に基づき、災害対策本部に連絡員を派遣 \*広島県との包括的連携協定の締結

\*広島県内の協同組合との連携 \*協同組合学校の開催 \*3生協連携・共同事業の推進

\*広島県協同組合連絡協議会シンポジウムの開催（広島県生協連）

\*災害支援物資のお届け（広島県生協連）（生協ひろしま）（日立因島生協）（竹原生協）（グリーンコープ生協ひろしま）

\*西日本豪雨災害では、共済加入組合員を訪問し共済金を支給。仮設住宅へ移動店舗による買い物支援。

他生協の炊き出し支援に協力。（生協ひろしま）

\*クライシス※6対応

- ①会員生協と共同で進行型災害（台風・大雨）や商品クライシスに向けた対応演習を行い、緊急時での対応力を強化
- ②西日本豪雨災害では、情報の共有や災害協定に基づく支援物資対応、

山口県周防大島での長期断水に伴う物資支援（コープC Sネット）

\*家庭会環境活動グループの活動と組合員の協力によりリサイクル資源回収（日立因島生協）

\*「地域包括ケア部」を創設し、よろず相談窓口や病棟班会など、事業と地域と組織の連携の強化

\*いきいき百歳体操や広島市の地域交流サロン運営事業 \*公開学習会で医療・介護・平和・貧困問題など学習

\*西日本豪雨災害で、他団体とも協力して被災した坂町や矢野の地域で健康チェック活動や

災害支援対話を継続して活動（広島中央保健生協）

\*災害支援・災害対策の活動。広島共立病院はJMAT※7として医療救護班を派遣

\*国の主催するDMAT※8隊員養成講座に参加し、災害拠点病院に指定（広島医療生協）

\*診療所圈内の地域を訪問し、なんでも相談カードを配布対応（福山医療生協）

\*「一人一品利用運動」で東北3県の商品を「おすすめ商品」とし、その供給高に応じて支援金を送金

\*原子力発電の依存度を減らし、再生可能エネルギーへの転換推進 \*西日本豪雨災害の災害支援金を 小・中学校及び義務教育学校に配分 \*災害時の支援として可搬式発電機を購入（広島県学校生協）

\*地域貢献助成事業 \*大規模災害への対応、被災者支援義援募金の実施、防災・減災イベントの開催

\*テレビCMの放映による「住まい」保障の必要性を訴求する取り組み（広島県労済生協）

\*社会奉仕活動。国道の清掃活動。たばこの吸い殻や空き缶ゴミを収集（三共生協）

\*食を中心とした「くらしの安心・安全」等の活動 \*被災地域の復興に寄与。

被災地域の学校や社会の復興に協力し、防災対策や災害活動に貢献（広島県高校生協）

\*水環境や人にやさしいせっけんの良さの普及活動 \*「4R※9」「再生可能エネルギーへの転換」「遺伝子組換え」

など環境を考える活動推進 \*ひろしま市発電所プロジェクト（グリーンコープ生協ひろしま）



## 誰もが生きがいを持って働く職場づくり

生協では、職員が働きがいのある仕事ができるよう支援しています。



ハートランドひろしまの皆さん

\*男女共同参画をすすめる会と共同して女性の地位向上に向けて取り組む（広島県生協連）

\*生協そのものが「働きがいのある人間らしい仕事」を生み出す“場”になるよう取り組む

\*（株）ハートランドひろしまは、就労継続支援A型事業所として支援体制を充実

\*女性職員の積極的登用と女性幹部職員の配置を増やすことを目標化して取り組む（生協ひろしま）

\*ハートコープおのみちエコセンターにおいて、障がいのある方へ

仕事を通じて社会参加・自立を支援（コープC Sネットひろしま）

\*人材育成方針を策定。グループで働くすべての人を対象に「人財アカデミー」を発足（広島県労済生協）

\*食事業政策の継続発展と、事業の安定のための人事を実行 \*若手・中堅職員の成長、新入職員の採用。

職員の異動、再配置を通じて今後の事業の安定と発展のための人事を実行（広島大学生協）

※6 クライシス / 危機。重大局面。

※7JMAT/ 日本医師会災害医療チーム。災害発生時に被災地へ派遣されて医療活動を行う、日本医師会が組織する災害医療チーム。

※8DMAT/ 災害派遣医療チーム。災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム。

※9 4R/ リフューズ (Refuse) : ごみの発生回避、リデュース (Reduce) : ごみの排出抑制、リユース (Reuse) : 製品・部品の再利用。リサイクル (Recycle) : 再資源化



# トップの羅針盤

株式会社ハートコーポおのみちエコセンター相談役  
生活協同組合連合会コーラー中国四国事業連合 理事長

小泉 信司

# Ecology Economy Ethical 時代を先駆けて 3つのEを実現！

近年、障がいを持つ方々の社会参加が注目されていますが、全国でいち早く積極的に障がいを持つ方々の雇用し、事業化に取り組んだのが(株)ハートコーラーおのみちエコセンターです。設立は2013年4月1日。

生協によるリサイクル施設は2000年中頃から設置されるようになりましたが、その先駆けとなつた施設です。今でこそ、エシカル(倫理的な)という言葉が一般的になりましたが、当時は十分に認知されておらず生協の中でも先進的な取り組みでした。

## 障がいを持つ方々の支援と リサイクル事業の両立

当センターの事業は、障がいのある方々へ仕事を通じて社会参加・自立を支援するとともに、リサイクル事業によって地域社会や生協組合員様への貢献を実現することを目的としています。

障がいを持つ方々を雇用する事が目的ではなく、雇用によって一人ひとりが自立し、また事業としても成立させなければ本事業の目的を果たしたとは言えません。

現在(2019年7月)、管理者を含めて12名(うち障がいのある方9名)の社員体制ですが、取扱量は年々増加し、製品販売収入もアップ。会員生協への還元金も上がり、事業として成功をおさめており、生協組合員様からも高い評価をいただいている。

## 積極的な雇用の先駆け

## エコセンターも copeCSネットも

### 会員生協にもメリット

生産性も年々向上  
交流ネットワークも広がり  
自立を促進

当センターは、中国地方5県の生協の宅配事業利用組合員様からご提供いただいた資源物に加工処理を施し、リサイクル一次加工製品として販売しています。販売収入は、センター事業運営に係る事業経費を除いたものを、copeCSネットの収益として計上し、さらに提供いただいた資源物量に応じて各会員生協に按分して還元。つまり当センターも、copeCSネットも、会員生協にもメリットになる仕組みなのです。

当センターの加工製品の品質が、徐々に市場に認知評価され、入札による買取単価は年々向上しています。それにより各会員生協にも当初想定以上の還元が可能になり、生協組合からも高い評価を得ています。



2014年度には、リサイクル事業に関する全国の生協との交流会を当センターにて開催。その後、西日本エリアを中心に当センターへの視察や研修が増加し、同様の形態でリサイクル事業や障がいを持つ方々を雇用する事業所を開設する生協が増え、交流ネットワークが広がりました。

2018年度には、生活面での自立を目指す当センター社員3名が、地域の就労支援型グループホームに入居し、自活サポートを受けながら通勤に取り組んでいます。

障がいを持つ方々への支援として、事業としても、着実に成果を上げています。



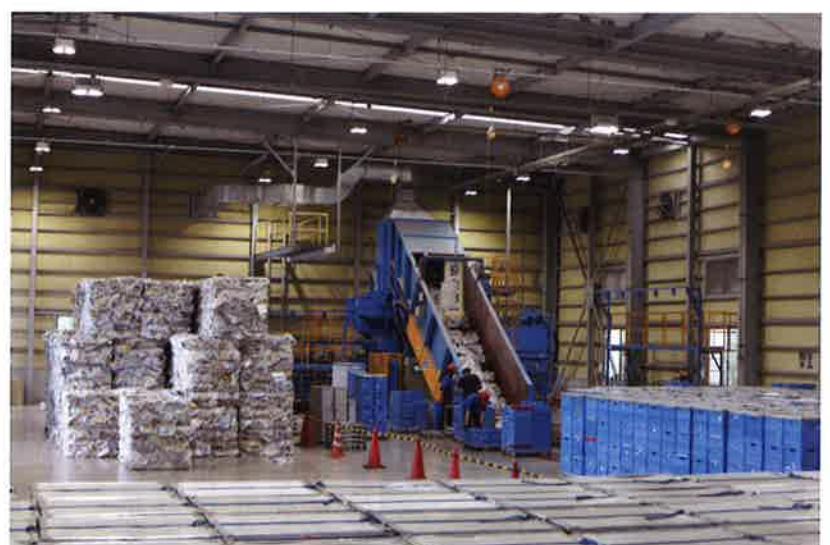
株式会社ハートコープおのみち

#### 所在地

〒722-0212 広島県尾道市美ノ郷町本郷字新本郷1-1（尾道流通センター内）

#### 事業内容

- ・再生資源物（ダンボール、古紙、牛乳パック、内袋等）の集積、加工
- ・清掃委託事業



エコセンター内は匂いもなく清潔で安全な環境  
決められた手順に則り整然と仕事をする社員のみなさん

# 県連生協ゼミナール 第2講・第3講・第4講開講!

主催 広島県生協連

広島県生協連が開講している6回シリーズの登録制ゼミナール（会員生協の次世代を担う職員が対象30名）の第2講～第4講を開講しました。

【第2講】とき：8月23日（金）

場所：広島県生協連

参加：受講生30名、オブザーバー4名

講師：広島市立大学社会連携センター特任教授 国本善平氏

テーマ「変わりゆく暮らしと地域、

生協はどう対応するか」

地域社会の営みや仕組みの変化について、動向や生活者の視点を踏まえながら、地域とともに歩む生協の近未来について考え方討議。人口減少は『静かなる有事』と捉え、ワークショップでは、人口の急減と地域的偏在の中で、「どのような施策を行つか」という大きなテーマで考え、「一人の生活者・地域人として、何ができるか」「生協として何ができるか」をディスカッションしました。

【第3講】とき：9月20日（金）

場所：サテライトキャンパスひろしま

参加：受講生25名、オブザーバー4名

講師：株式会社NORTH HAND GROUP 代表取締役 北村聰氏

テーマ「組織活性化のためには、なにをなすべきか」

北村様から、自らの経験（失敗を含む）をもとに、組織活性化のための理論、考え方、心構え等のレクチャーがあり、経営者としての思いや行動、改革の息吹を感じました。キーワードは「正確な情報共有」。

ワークショップ①では、脳と心の取扱説明書と言われる「NLP（神経言語プログラミング）」を

活かした「ミニユースーションについて学び、ワークショップ②は、スティアブン・R・「マイ」「アツの習慣」を学び、人生論、自己啓発、マネジメント等についてディスクッションを行いました。

【第4講】とき：9月27日（金）

場所：サテライトキャンパスひろしま

参加：受講生24名、オブザーバー3名

テーマ「核なき世界の実現に向けた

市民社会の取組」「生協と平和・協同組合の原点に立ち返り

「未来を展望する」

講師：（公財）広島平和文化センター常務理事 岩崎常務理事

岡村信秀会長理事 岩崎静二氏

テーマ「ゲノム編集技術に関する学習会」を開催し、各会員生協から28名

の役職員が参加しました。

今回の学習会は、身近な問題である食の安全に

関して、ゲノム編集技術の基礎的知識について理

解を深め、消費者として考える力を養うことを目

的に開催しました。講師に広島大学大学院統合生

命科学研究科免疫生物研究室 堀内浩幸教授を迎

え「ゲノム編集と遺伝子組換えを考える」と題し

て、ゲノム編集技術についての理解と、食品への

利用の影響などについてお話をいただきました。ゲ

ノム編集技術については、食品への影響があると

思われるにも関わらず、一般的に理解が深まっています。ゲノム編集と

遺伝子組換えの違いについて、手法と生成された

ものの違いなど、分かりやすく説明していただき

ました。ゲノム編集では、遺伝子を挿入せずタンパク質で変異を起こすため、自然界の変異と区別がつかないので消費者にはわからない。そのため安全性を徹底的に調べる必要があると話されました。会場からは、種子法との関係についてや消費者の立場としての質問がありました。講演の後も講師に質問をするなど参加者の興味・関心の深さを感じました。

主催 広島県生協連 とき 9月4日（水）

ところ 広島県生協連

広島県生協連は、会員生協の職員を対象に『食の安全「ゲノム編集技術」に関する学習会』を開催し、各会員生協から28名



講師の堀内浩幸教授



学習会の様子

（報告：広島県生協連 山下 知子）

福島  
守

# ヒバクシャ国際署名54万筆突破！ 元安橋で街頭署名行動を行いました。

と  
き 9月25日(水)

主  
催

広島県生協連

(ヒバクシャ国際署名広島県推進連絡会  
事務局)



署名を呼び掛ける  
スティーブン・リーパー氏

ヒバクシャ国際署名広島県推進連絡会は、9月25日、広島市中区の平和公園入口にある元安橋にて署名行動を行いました。この日は多くの修学旅行生が、平和公園のいたるところで平和学習をしていました。秋分も過ぎたというのに日差しが眩しく暑い日でしたが、ヒバクシャ国際署名に賛同する81団体・個人から、両広島県被団協はじめ11団体30名が参加し、署名を呼びかけました。この日は、広島平和文化センター元理事長のスティーブン・リーパーさんが急遽署名行動に参加してくれたり、そのかいあってか、県外からの修学旅行生、外国の方などの署名により30分の署名行動で、356筆の署名が集まりました。

ヒバクシャ国際署名広島県推進連絡会は、被爆者団体と一緒に2017年から署名活動に取り組んでおり、街頭署名は今回で11回となりました。署名数は広島県で54万筆を超え（目標は140万筆）、ヒバクシャ国際署名広島県推進連絡会に賛同してくださる加入団体の皆様の力が広がっていることを感じています。

広島県推進連絡会では、11月28日（木）13時より広島YMC Aにて川崎哲さん（ピースボート共同代表・ICAN国際運営委員）をお招きして学習会を開催しました。今後も

2020年NPT再検討会議に向け、市民の世論形成のために取り組みを続けていきます。

（報告：広島県生協連 山下 知子）

## [9月13日～15日・長崎県生協連役員研修会]

■長崎県生協連役員の皆さん12名

■来訪の目的：昨年の西日本豪雨災害の被災地の状況と、広島県生協連が広島県と結んだ「災害時における物資協定」に基づく対応、及びボランティア活動等の支援活動についての視察。併せて平和活動に関する連携を深めるために、核兵器を取り巻く状況についての学習。

最初に、広島市安芸区民文化センターにおいて、（公財）広島平和文化センター岩崎（静一）常務理事による「核なき世界の実現に向けた市民社会の取組」のご講演。続いて、広島県生協連が全国の生協に呼びかけて支援活動を行った広島市安芸区の山本秀樹区長よりご講演をいただきました。山本区長にはその後の被災地（安芸区清山団地）視察にも同行、案内頂き、現地では担当者から丁寧な説明を受けました。ご対応いただいた山本区長、岩崎常務理事に感謝いたします。

# 長崎県生協連、大分県生協連が来訪！ 視察や勉強会を通じて連携を再確認。

## [10月12日～13日・大分県生協連役員研修会]

■大分県生協連役員の皆さん12名

■来訪の目的：昨年の西日本豪雨災害の被災地を視察。大規模災害発生時の支援活動の確認。

安芸郡坂町社会福祉協議会を訪問し、奥（至雅）事務局長より、通常職員2名の坂町社協が、全国からの支援により対応できること、地域の住民で組織している「住民協」（町内会）が主体となって、住民への被害状況の聞き取りや、支援の要望について聞き取りを行って対応されたこと等を報告いたしました。

その後、被災地（小屋浦、坂町）を視察。被災した保育園、家屋等、建物は撤去されているものの、建物の再建や川の法面、道路、橋の本格的な復旧はこれからという現状を見て、「これから対応について考えるきっかけになつた」「当時の対応や、普段からの行政との関係作りやその他の会員との日常的な連携が重要」と感想をいただきました。



今回は、災害対応に加えて、平和活動に関する長崎県生協連、大分県生協連の取り組み等をお聞きすることができました。今後も連携して活動を推進することを確認し有意義な交流ができました。

（報告：広島県生協連 福島 守）

# 第47回 広島県生協大会開催

とき 10月25日(金)

ところ サテライトキャンパスひろしま

主催 広島県生協連



広島県生協大会会場



主催者挨拶する 岡村信秀会長理事

## 県内の生協連携による 介護事業所の展開

第2部では、広島中央保健生活協同組合 盛谷博文専務理事による廿日市における『県内の生協連携による介護事業所の展開』の報告がありました。



広島中央保健生活協同組合  
盛谷博文専務理事



森永智絵局長の祝辞

変わりゆく暮らしと地域・  
これから生協はどう  
向き合っていくか

第3部は、京都大学経営管理大  
学院経営研究センター長 若林靖  
永教授による記念講演が行われま  
した。



京都大学経営管理大学院  
経営研究センター長 若林靖永教授

## くらせる持続可能な 地域コミュニティーの 再生をめざして

今年で第47回を数える「広島

県生協大会」が、サテライトキャ  
ンパスひろしまにて開催されました。

午後1時、式典開会を前に、先  
日の台風15号、19号でお亡く  
なりになつた方への追悼の黙とう

を行いました。  
続いて、広島県生協連 岡村信秀会長理事による主催者挨拶では、国連気候行動サミットでのグレタ・トゥーンベリさんのスピーチを引用して、激甚化する自然災害に対して、地球温暖化への対策、エネルギー政策への早急な対応が必要であることを訴えました。

時代の要請やニーズにいち早く  
応え、「誰もが安心してくらせる持  
続可能な地域「ミニユーニティーの再生」  
を実現するために一層の協力を懇  
請し挨拶を結びました。

続いて、来賓を代表して森永智  
絵広島県環境県民局長より、ご挨  
拶があり、大会開催の祝辞と共に  
昨年の豪雨災害支援活動へのお礼  
と、日頃の連携した取り組みに対  
する感謝を述べられました。

これまで県内生協は、福祉事業  
分野での連携を模索してきました。  
2018年遂に生協ひろしまと  
広島中央保健生協が同居する介護  
事務所が開所を迎えることになり  
ました。

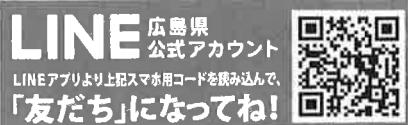
地域の組合員から見れば、『生協』  
はひとつ・枠組みを超えた連携の  
成果であることを示しました。

加速する少子高齢化と地域の現  
状を取り上げ、2050年の日本  
の地域生協のミッションは、「新し  
い地域社会を創ること」と定義。  
その具体的なビジョンとして「集  
いの館」構想、ワークショップの  
重要性、他人への配慮、良好な関  
係性構築これから社会に必要に  
なるであろうと示唆され、まさに  
協同組合の倫理的価値観である  
「誰もが生きがいを持ち、互いに  
助け合う地域社会を実現」するこ  
とが必要であると講演されました。  
今回の講演を通して、地域づく  
りへ生協がどう参加していくのか、  
地域とのつながりづくりをするた  
めに何をすべきか、参加者一人ひ  
とりが、改めて取り組むべき課題  
を再確認した一日でした。

# 広島県公式SNSを多言語対応します！

これまで県公式SNS（Twitter、Facebook、LINE）では、日ごろの防災情報や非常時の災害に関する情報を日本語のみで発信していましたが、年々増加傾向にある外国人居住者や外国人観光客の方々にも「安心安全」に繋がる情報を届けるため、多言語対応することになりました。

（※英語、韓国語、中国語（繁体字・簡体字）、タイ語、ポルトガル語、スペイン語、インドネシア語、ベトナム語）  
広島県にいらっしゃる方々の安心安全に繋がる情報を、これからも一生懸命発信していきますので、この機会にぜひ、県公式SNSのファンになってください。



## 広島好きの職員による広島県の旬な情報を発信中！

～「ひろしま県庁 こちら広報課」～

広島県の取り組みや県内のイベント情報、県内で盛り上がっている各種スポーツの観戦記など、県民の皆さんに知りたい情報満載でお届けしています。

毎週金曜日に旬な情報を発信する「今週のトピックス」、毎月特集や広島に関する注目数字、広報課職員の体験談などを掲載したWEB版の月刊誌「月刊こちら広報課」など、読みごたえは十分。秋も深まり夜が長く感じる季節にも、「ひろしま県庁 こちら広報課」をぜひご覧ください。



お問い合わせ／広島県総務局広報課 ☎082（513）2378

## 「消費者トラブルの手口を知りましょう」⑯

近年、振り込め詐欺やインターネットを悪用した詐欺などの被害が後を絶ちません。消費者トラブルは身近なところに存在しています。情報を知り、被害にあうことがないよう、また被害にあったときの対処法について、日頃から備えておきましょう。

### 「お試し」「1回だけ」のつもりが定期購入だった!?

(2018年2月27日 独立行政法人国民生活センター 見守り新鮮情報第302号より)



スマートフォンで筋肉強化のサプリメントが約500円で購入できるという広告を見て申し込み、商品を受け取った。  
最近になって、再び同じ商品が届き、今度は6千円以上になるとの請求書が入っていた。事業者に電話したところ、4回購入が条件の定期購入だと言われた。画面の下の方にそのような説明が書かれていたようだが、申し込みの際は気付かなかった。  
(60歳代 男性)

★ホームページ等の広告を見て、健康食品等を低価格で購入出来るとあって申し込んだが、実際には数ヶ月間の定期購入が条件となっていたという相談が寄せられています。

★定期購入の契約条件によっては途中での解約が出来なかったり、解約しようと事業者に連絡しても、電話がつながらなかったりする場合も多くあります。

★商品を注文する前に、特に最終確認画面で定期購入が条件になっていないか、中途解約や返品は出来るのかなどの契約内容をしっかりと確認することが大切です。

★困ったときは、お早めにお住まいの自治体の消費生活センター等にご相談ください。 消費者ホットライン188



## 第2回福祉・介護委員会報告

■開催日：8月21日（水）

□主な協議・報告事項

- ・2019年度トップケーススタディ研修について
- ・介護事業戦略セミナーについて
- ・訪問介護事業検討会議について
- ・広島県への要請項目について
- ・第一四半期、及び7月までの経営実績について
- ・介護職員等特定待遇改善加算の対応について

## 第3回組織平和委員会報告

■開催日：9月4日（水）

□主な協議・報告事項

- ・平和活動の取り組みの振り返りと課題
- ・ヒバクシャ国際署名広島県推進連絡会活動報告
- ・2020年度広島県への要請事項（案）について
- ・第47回広島県生協大会の開催について
- ・消費者のつどい2019について
- ・2019年度介護の日フェスタについて

## 第3回理事会報告

■開催日：9月19日（木） ■出席理事：18名中12名出席

□協議事項

- ・2020年度広島県への要請事項（案）について

□報告事項

- ・2020年NPT再検討会議に向けた取り組み方針（案）について
- ・他団体の協賛、公職承認について
- ・広島県生協連システム変更について
- ・2019県連生協ゼミナール開催報告
- ・第47回広島県生協大会の開催について
- ・2019年度トップケーススタディ研修（案）について
- ・2019ピースアクションinヒロシマ開催報告
- ・2019市民平和行進報告
- ・ヒバクシャ国際署名広島県推進連絡会活動報告

# 言葉の贈り物

人と人、地域と地域を結ぶために。あの人が綴る明日へのメッセージ



児童文学作家  
なすまさもと  
**那須正幹**

PROFILE  
広島県広島市己斐（こい）（現・西区己斐本町）出身。  
代表作は「スッコケ三人組」シリーズ。  
現在は山口県防府市に在住。

## あの体験を伝え続けることは 体験した私たちの使命

私が生まれたのは1942年6月6日ですから、8月6日は3歳と2ヶ月。まだほんの子どもでしたから、直接憶えていることは、あまりありません。自宅は、現在の西区の己斐本町にあたり、当時は庚午北町1丁目と言つていきました。爆心地から3キロの場所でした。

私がハッキリと覚えているのは、11時くらいになつて雨が降つてきたときのことです。家は半分吹き飛んだような状態だったので、私は押し入れの中で雨宿りをしました。その時、国民学校の国語の教科書を見ていました。巻末に載つていた桃太郎に、「きれいな色彩がしてあつて『ああ、きれいだな』と感じたことを、しっかりと記憶しています。

私が5歳の時に、新憲法が発布されました。今度の新しい憲法は日本は絶対戦争をしないことになつていて、軍隊も無くなる。子ども心に「すごくいいな」と思いましたね。これからはピカに合うことはないんだ、と。

今、今の子どもたちに、戦争とはどういふつもりして、どこか戦争の影や傷跡が日常に残つていました。だから理屈ではなく、反射的に「戦争はイヤだ」と言つていました。でも、今の時代は、そういう思いが途切れてしまつたと痛切に感じています。それをなんとか若い人たちに伝えたい。

昔は、家族の中に戦争を体験した人がいたりして、どこか戦争の影や傷跡が日常に残つていました。だから理屈ではなく、反射的に「戦争はイヤだ」と言つていました。でも、今の時代は、そういう思いが途切れてしまつたと痛切に感じています。それをなんとか若い人たちに伝えたい。

### 編集後記

10月に、国連で16歳のグレタさんが涙ながらに地球温暖化の非常事態を訴えたことは世界に衝撃を与えた。今世界は、人類の未来を真剣に考える時が来ていると思います。自分たちでできることから始めることでSDGsの持続可能な17の目標に近づく一歩です。子どもたちに明るい未来を繋いでいきましょう。（山下）

8月6日。父はいつも通り出勤し、上の娘は学徒動員で御幸橋の専売局（日本たばこ産業広島工場）へ行くために、朝早くから出かけたので、私は母と2人で自宅にいました。あとから母から聞いた話ですが、その日は、近所のおばさんが、潮干狩りで探つてきたアサリを持ってきてくれたそうです。自宅の前庭に、おばさんが持つてきた日傘をさしかけて、縁側で世間話をし、私は母の背中におさかるようにもたれかかつた時、原爆が落ちました。

気が付くと、前に座つていたおばさんは半身火傷を負い、日傘は焼けていました。しづくがたれていた洗濯物はこれを食べなさい」と御礼に缶詰をくにかく熱くて、熱くて。つまようじにミカンをさせて、フーフー言いながら食べたことを覚えています。

今から思えば、あのおじさんは火事場泥棒だったんですよ。食糧倉庫から盗んできたものなんでしょう。原爆が落ちたっていう大惨事のなか、缶詰を盗むなんて、したたかですよ。あれからその人がどうなつたか、わかりませんが。

その時は、甘いものに飢えていたので、ただただアツアツのミカンを食べました。今でもミカンの缶詰を食べるとき、火傷しそうに熱かったあの時のミカンを思い出します。

私は自身は、原爆についての恐怖感はないと思っていましたが、4〜5歳のころ、外で遊んでいる時に大きな音がしました。でも、もし家の中にいたら風で割れたガラスが刺さつて大怪我をしていたかもしれません。

広島県生活協同組合連合会

〒730-0802 広島市中区本川町2-6-11 第7ウエノヤビル5F

TEL:082-532-1300 FAX:082-232-8100

e-mail:kenren.h@proof.ocn.ne.jp URL:<http://hiroshima.kenren-coop.jp>

く感じたかもしませんね。  
そろそろ夕方、という頃。荷車に缶詰を山盛りに積んだおじさんが「水を飲ませてください」とやつてきました。うちには井戸があるので、井戸水を飲ませてあげました。すると「坊ちゃん、これを食べなさい」と御礼に缶詰をくにかく熱くて、熱くて。つまようじにミカンをさせて、フーフー言いながら食べたことを覚えています。

今から思えば、あのおじさんは火事場泥棒だったんですよ。食糧倉庫から盗んできたものなんでしょう。原爆が落ちたっていう大惨事のなか、缶詰を盗むなんて、したたかですよ。あれからその人がどうなつたか、わかりませんが。

ぶつぶつせばいいんじや」と。

なるほど、そうだなと思いました。  
そもそも今の大人が戦争を始めたんだから。「よし、大人になつたら自衛隊をぶつ潰そう」と2人で大いに炎をあげましたよ。

それほど新憲法は、私にとつて素晴らしい、輝かしいものでした。

今もある時感じた気持ちを覚えてい

ますし、今でも素晴らしいものだとい

う思いは変わっていません。

児童文学を書くようになつて、戦争や原爆を次の世代に伝えたいとの思いから、いくつか作品を書きましたが、それは私自身の子どもの時の気持ちがあげましたよ。

児童文学を書くようになつて、戦争や原爆を次の世代に伝えたいとの思いから、いくつか作品を書きましたが、それは私自身の子どもの時の気持ちがあげましたよ。